

県内各市町の

区 分 市 町 名	面 積 (8.10.1)	人 口 国 勢 調 査 (7.10. 1)			世 帯 国勢調査 (7.10.1)	事 業 所 (8.10. 1)		農 (戸
		総数	男	女		事業所数	従業者数	
山 口 県	km ² 6 110.27	1 555 543	736 555	818 988	564 210	83 193	732 406	63 286
市 部 計	2 305.68	1 211 439	576 100	635 339	445 686	65 507	605 086	30 951
防 府 市	188.58	118 803	56 949	61 854	41 668	5 965	56 791	4 153
構成比 %	3.09	7.64	7.73	7.55	7.39	7.17	7.75	6.56
順 位	7 位	4 位	4 位	4 位	4 位	6 位	5 位	2 位
下 関 市	223.98	259 795	122 137	137 658	98 313	13 997	125 595	2 840
宇 部 市	210.32	175 116	83 983	91 133	63 740	8 351	81 545	2 815
山 口 市	356.90	135 579	64 902	70 677	51 733	6 392	66 550	5 383
萩 市	境界未定	48 314	21 892	26 422	17 537	3 231	22 400	1 690
徳 山 市	339.81	108 671	52 932	55 739	41 422	7 491	65 178	2 910
下 松 市	89.36	53 471	25 623	27 848	19 132	2 711	27 606	1 440
岩 国 市	221.15	107 386	51 254	56 132	39 977	6 238	55 164	1 874
小野田市	43.04	45 946	21 687	24 259	16 079	1 948	19 546	691
光 市	59.85	46 830	22 212	24 618	16 469	2 210	21 649	1 149
長 門 市	152.38	25 118	11 592	13 526	8 673	1 720	13 939	1 073
柳 井 市	127.86	35 071	16 247	18 824	13 162	2 352	17 178	2 451
美 祢 市	228.25	19 001	8 946	10 055	6 479	1 105	9 868	1 712
新南陽市	64.20	32 338	15 744	16 594	11 302	1 796	22 077	770
郡 部 計	3 573.18	344 104	160 455	183 649	118 524	17 686	127 320	32 335
徳 地 町	290.35	9 130	4 334	4 796	3 038	455	2 755	1 647
秋 穂 町	24.08	8 149	3 890	4 259	2 463	343	2 373	602
小 郡 町	33.40	22 881	11 192	11 689	8 396	1 823	16 812	366
美 東 町	129.49	6 496	3 003	3 493	2 006	336	2 523	877
秋 芳 町	114.97	6 899	3 193	3 706	2 166	438	2 525	973
阿 東 町	293.08	9 133	4 239	4 894	3 112	543	3 453	1 744

注) 萩市及び阿武郡川上村の境界は一部が未定(合計面積は 231.36Km²)で、その面積は、市部・

主 要 統 計 表

業	商 業			工 業			普 通 会 計
7. 2. 1)	〔卸・小売〕 (6. 7. 1)			〔従業者 4人以上〕 (8.12.31)			歳 出 決 算 額
経営耕地 総 面 積	商店数	従業者数	年 間 商 品 販 売 額	事業所 数	従業者数	製 造 品 出 荷 額 等	(平成7年度)
a			万円			万円	千円
4 570 795	27 156	139 250	420 668 571	3 020	121 553	489 499 781	623 972 861
1 975 337	21 461	117 139	358 864 997	2 239	97 207	414 676 392	425 526 560
232 478	1 920	11 267	32 311 967	210	12 526	57 172 484	39 812 899
5.09	7.07	8.09	7.68	6.95	10.30	11.68	6.38
3 位	4 位	5 位	5 位	3 位	2 位	2 位	6 位
245 859	4 764	25 720	83 304 126	477	17 179	51 545 857	85 906 272
194 162	2 943	16 587	54 780 453	277	12 318	45 734 809	53 068 283
447 358	1 901	11 786	45 406 383	162	5 195	10 952 101	40 613 295
112 460	1 147	5 106	10 224 260	149	2 321	2 430 346	17 727 112
132 056	2 302	13 253	50 671 225	149	6 630	68 459 589	40 055 380
48 180	950	4 945	15 043 565	123	7 424	29 011 702	19 172 457
74 044	1 905	10 346	28 422 837	184	7 607	24 198 970	39 999 970
41 537	635	3 306	7 939 037	77	4 116	33 773 574	19 553 244
47 516	746	3 589	7 622 320	81	7 546	33 900 414	17 227 445
81 851	564	2 633	5 162 210	108	1 804	2 192 307	10 430 014
147 170	789	4 328	9 285 462	85	2 311	6 241 489	15 878 931
140 545	366	1 440	2 079 330	71	3 125	9 352 480	11 443 344
30 121	529	2 833	6 611 822	86	7 105	39 710 270	14 637 914
2 595 458	5 695	22 111	61 803 574	781	24 346	74 823 389	198 446 301
111 266	144	451	588 751	27	477	585 602	5 922 159
54 604	116	432	503 791	14	661	847 161	3 323 356
22 879	684	5 440	35 555 802	32	718	1 118 864	6 617 256
98 974	121	350	481 882	18	615	1 190 643	4 779 430
114 026	134	514	607 005	17	178	247 062	4 898 464
225 309	178	595	974 408	17	357	264 782	6 195 045

郡部計には含まれない。順位は県内14市中。町村は広域市町村圏内のみ掲載。

主 な 統 計 調 査 の

調 査 の 名 称	実 施 省 庁	調査方法	調査期日	周期	実 施 年 度					
					H8	9	10	11	12	13
国 勢 調 査	総 務 庁	全 数	10月 1日	5年				△	○	
事業所・企業統計調査	〃	〃	10月 1日	5年	○			☆	△	○
住 宅 統 計 調 査	〃	標 本	10月 1日	5年		△	○			
就 業 構 造 基 本 調 査	〃	〃	10月 1日	5年		○				
全 国 消 費 実 態 調 査	〃	〃	9 ～11月	5年				○		
全 国 物 価 統 計 調 査	〃	〃	11月	5年		○				
サービ業基本調査	〃	〃	11月 1日	5年				○		
土地基本調査世帯調査	国 土 庁	※(仮称)平成10年住宅・土地統計調査として上記住宅統計と一併に実施予定								
学 校 基 本 調 査	文 部 省	全 数	5月 1日	毎年	○	○	○	○	○	○
工 業 統 計 調 査	通商産業省	〃	12月31日	毎年	○	○	○	○	○	○
石油等消費構造統計調査	〃	〃	12月31日	毎年	○	○	○	○	○	○
商 業 統 計 調 査	〃	〃	6月 1日	5年	▽	○				▽
商工業実態基本調査	〃	標 本	6月30日	5年			○			
農（林）業センサス	農林水産省	全 数	2月 1日	5年				○	☆	
漁 業 セ ン サ ス	〃	〃	11月 1日	5年			○			

○……調査 △……調査区、単位区設定 ○……丙（飲食店）調査 [10月1日]

実 施 状 況 一 覧 表

調 査 事 項 等
男女の別、出生の年月、就業状態、事業の種類、仕事の種類、従業地又は通学地など
事業所の名称、所在地、経営組織、形態、開設時期、事業の種類、企業の資本金など
住宅・世帯の居住状況及び所有関係など
15才以上の者の有業無業の別、仕事の種類、就業希望など
勤労者世帯の収入・支出など
卸売店舗、卸売価格、卸売販売数量、小売店舗、小売価格など
事業所の名称、所在地、経営組織及び資本金額、営業時間など
土地の所有状況及びその利用状況など（平成5年に初めて実施された承認統計）
学校数、学級数、生徒数および教員数など
従業者数、製造品出荷額など ※ 昭和55年以降全数調査は、西暦年の下1桁の数が「0, 3, 5, 8」の年のみ
燃料の受入量、用途別消費量及び在庫量など
従業者数、商品販売額及び商品手持額など ※ 平成9年調査以降は5年周期となる
従業者数、資本金額または出資金額、資金調達方法など
農家世帯員の状態、農業雇用労働、農業用地、農業生産物など
漁業経営の状況、漁業種類、操業日数、漁船数、漁獲物など

▽……準備調査 ☆……補正、事後調査

歴代の三役・正副議長

< 市長 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	武 光 一	S 11.12. 3	S 12.12. 3	8	長 嶋 紀 一	27.11.27	35.11.26
2	浮 田 茂太郎	13. 3. 5	15. 6.14	9	高 安 彦	35.11.27	39.11.26
3	山 本 芳 輔	15. 7.18	19. 7.17	10	秋 本 武	39.11.27	43.11.26
4	村 田 信 乃	19. 7.23	20.11. 7	11	鈴 木 覚	43.11.27	55.11.26
5	森 川 親 友	20.12.10	22. 2. 3	12	原 田 孝 三	55.11.27	63.11.26
6	宮 地 良 三	22. 4.16	26. 4.15	13	吉 井 惇 一	63.11.27	
7	中 司 菊 治	26. 5.12	27.11.10				

< 助 役 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	中 司 菊 治	S 11.12.14	S 13. 4.23	12	淵 上 博	35.12.25	39.12.24
2	内 田 虎 一	11.12.14	13. 4. 1	13	大久保 英 夫	40. 1. 9	41. 6.22
3	山 田 与 作	13. 7.22	17. 7.21	14	歳 弘 英 雄	41. 6.23	44. 5.28
4	田 中 富士道	14. 4. 8	14.11.14	15	河 崎 洋 三	44. 7.18	52. 7.17
5	片 山 泰 三	17. 9. 3	21.12. 2	16	藤 井 久 治	48. 7.18	54. 3. 1
6	藤 井 年 光	21. 5. 4	25. 5. 3	17	高 橋 章 仁	54. 3. 7	56. 6.15
7	平 下 証	24. 7. 1	27.11.10	18	福 田 速 水	54. 3. 7	58. 3. 6
8	藤 井 年 光	25. 5. 4	28. 1.31	19	中 原 泉	56. 6.23	60. 6.22
9	桑 原 政 夫	28. 2. 1	31.12.15	20	藤 本 利 治	60. 6.25	H 元. 3.31
10	河 上 正 雄	30.10.10	31.11.26	21	歳 弘 克 己	H 元. 4. 1	H 9. 3.31
11	村 中 庄 太	31.12.19	35.12.18	22	脇 村 博 夫	H 9. 4. 1	

< 収 入 役 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	尾 中 彦二郎	S 11.12.14	S 14.11.11	10	高 橋 章 仁	53.11. 7	54. 3. 6
2	金 子 良 重	14.12.14	15. 3. 2	11	河 村 圭 二	54. 3. 7	58. 3. 6
3	上 村 源太郎	15. 4. 1	28. 1.21	12	永 田 弘 毅	58. 3.22	62. 3.21
4	尾 中 源 一	28. 1.22	32. 1.21	13	桂 寿 夫	62. 3.25	H 3. 3.24
5	中 村 敏 夫	32. 1.22	36. 1.21	14	小 川 正 良	H 3. 3.25	H 9. 3.31
6	田 中 賢 治	36. 1.22	40. 1.21	15	大 村 崇 治	H 9. 4. 1	
7	原 田 正 己	40. 3.13	44. 3.12				
8	河 崎 洋 三	44. 3.28	44. 7.17				
9	原 田 薫	44. 7.18	53.11. 6				

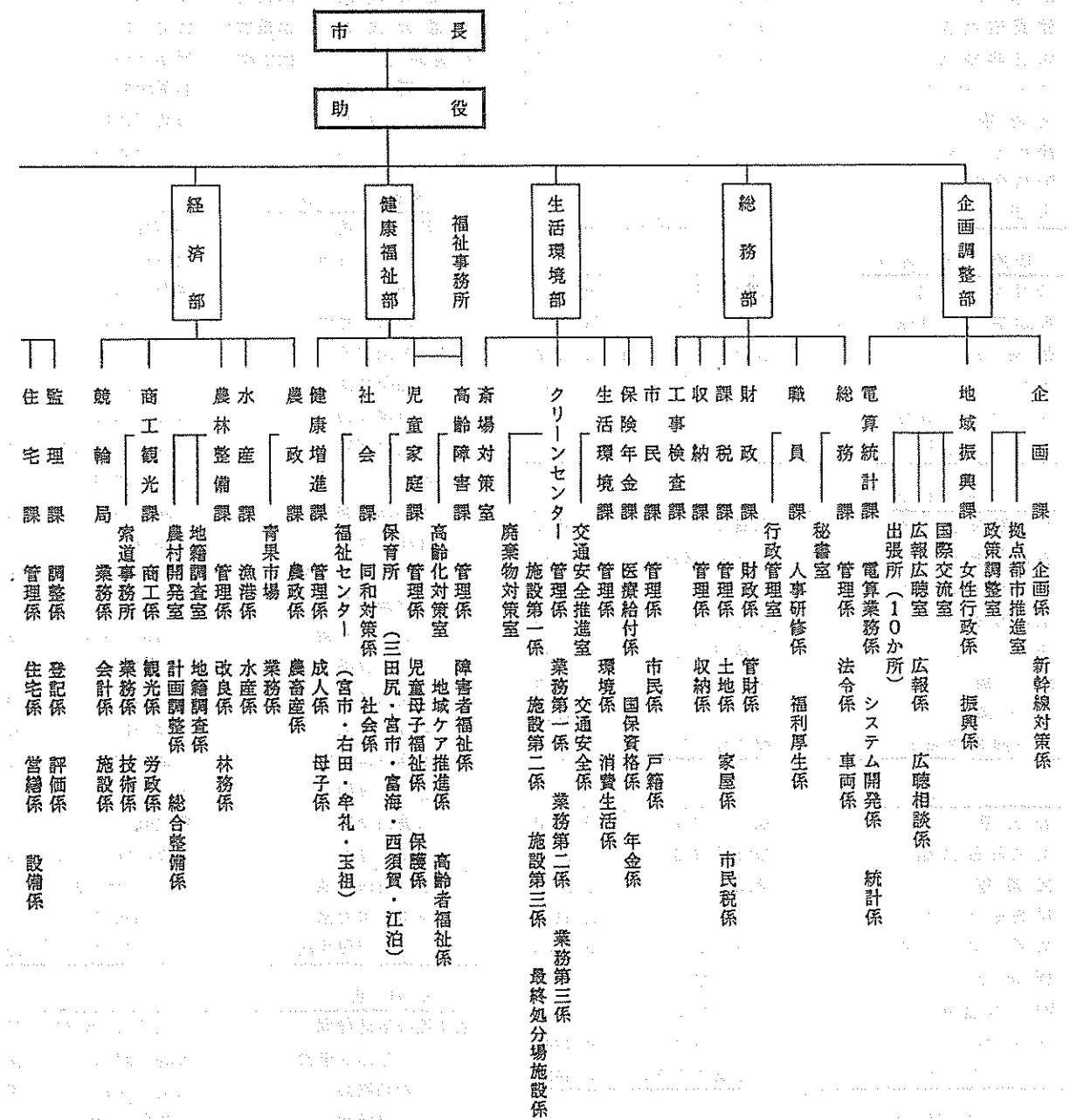
< 議 長 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	武 光 一	S 11.10.19	S 11.11. 3	1 7	中 島 増太郎	42. 8.12	43.11.26
2	安 田 健 一	11.12. 3	17. 8.31	1 8	久 和 勘治郎	43.12. 5	46. 3.13
3	阿 部 治 郎	17.11. 4	22. 4.29	1 9	松 田 定	46. 3.13	47.11.26
4	宮 本 時 房	22. 5.16	26. 3.30	2 0	笹 井 武 夫	47.12. 5	49.12. 3
5	吉 武 繁	26. 3.31	26. 4.29	2 1	国 弘 忠 克	49.12. 3	51.11.26
6	中 村 茂 喜	26. 5.17	27. 8.19	2 2	田 中 宏 二	51.12. 7	53.12. 4
7	澄 川 健 一	27. 8.19	27.10.31	2 3	吉 武 滋 郎	53.12. 4	55.11.26
8	時 政 鐵之助	27.12.15	29.12. 8	2 4	島 田 明	55.12. 8	57.12. 8
9	藤 本 作 一	29.12. 8	31. 9.16	2 5	加留部 正 久	57.12. 8	59.11.26
1 0	中 村 茂 喜	31. 9.28	31.11.26	2 6	清 水 義 治	59.12. 9	61.12. 9
1 1	中 村 晟	31.12. 4	33.11.17	2 7	松 本 茂	61.12. 9	63.11.26
1 2	山 本 重 喜	33.11.17	35.11.26	2 8	渋谷 正	63.12. 5	H 2.12. 6
1 3	山 本 重 喜	35.12. 5	37.11.26	2 9	久 保 玄 爾	H 2.12. 6	4.11.26
1 4	中 島 増太郎	37.11.26	38.12.21	3 0	重 田 好 一	4.12. 4	6.12. 6
1 5	澤 田 四 郎	38.12.21	39.11.26	3 1	重 田 好 一	6.12. 6	8.11.26
1 6	伊 藤 盛 次	39.12. 5	42. 8.12	3 2	笹 井 幸 弘	8.12. 4	

< 副 議 長 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	中 司 菊 治	S 11.10.19	S 11.11.14	2 1	国 弘 忠 克	47.12. 5	49.12. 3
2	阿 部 法 一	11.12. 3	15.10. 6	2 2	吉 武 滋 郎	49.12. 3	51.11.26
3	柳 義 雄	15.11. 6	17.11. 4	2 3	島 田 明	51.12. 7	53.12. 4
4	石 川 七之助	17.11. 4	22. 4.29	2 4	田 中 義 規	53.12. 4	55.11.26
5	島 田 教 治	22. 5.16	26. 3.30	2 5	加留部 正 久	55.12. 8	57.12. 8
6	時 政 鐵之助	26. 5.17	26. 8.19	2 6	清 水 義 治	57.12. 8	59.11.26
7	徳 永 安 雄	26. 9.14	27. 8.19	2 7	松 本 茂	59.12. 9	60.11.26
8	久 和 勘治郎	27. 8.19	27.10.30	2 8	種 田 武	60.12. 9	61.12. 9
9	藤 井 幸 吉	27.12.15	28.12. 5	2 9	植 木 三 夫	61.12. 9	63.11.26
1 0	山 本 重 喜	28.12. 5	29.12. 8	3 0	杉 本 茂	63.12. 5	H 元.12.12
1 1	広 政 定 一	29.12. 8	31.11.26	3 1	玉 木 章	H 元.12.12	2.12. 6
1 2	久 和 勘治郎	33.12. 4	33.11.17	3 2	植 木 三 夫	2.12. 6	3.12. 5
1 3	澤 田 四 郎	33.11.17	35.11.26	3 3	重 田 好 一	3.12. 5	4.11.26
1 4	中 島 増太郎	35.12. 5	37.11.26	3 4	河 村 龍 夫	4.12. 4	5.12. 7
1 5	越 智 庄 作	37.11.26	38.12.21	3 5	川 崎 勇	5.12. 7	6.12. 6
1 6	末 富 忠 雄	38.12.21	39.11.26	3 6	青 木 岩 夫	6.12. 6	7.12. 5
1 7	松 田 定	39.12. 5	42. 3.27	3 7	吉 岡 保 彦	7.12. 5	8.11.26
1 8	小 林 敏 雄	42. 3.27	43.11.26	3 8	宮 川 豊	8.12. 4	9.12. 4
1 9	笹 井 武 夫	43.12. 5	45.12.17	3 9	河 村 龍 夫	9.12. 4	
2 0	玉 木 盛 之	45.12.17	47.11.26				

— 平成9年4月1日現在 —



市内の主要官公署一覧

〔市民生活関係〕

市役所	寿町 7-1	23-2111
健康増進課	鞠生町 12-1	24-2161
休日診療所	鞠生町 12-1	24-4172
クリーンセンター	新田 364	22-4742
火葬場	高井 1230	21-4900
浄化センター	新田 394	22-8159
野島浄化センター	野島 687-12	34-1566
水道局	仁井令町 13-1	23-2511

〔経済・商工関係〕

公設青果市場	植松 1143	29-3452
索道事務所(大軸ロープウェイ)	牟礼 138-1	38-0442
競輪場	国分寺町 8-2	22-1212
デザインプラザ	八王子 2-8-9	25-3700
サンライフ防府	八王子 2-8-9	25-0333
シルバー人材センター	八王子 2-8-9	24-0600

〔福祉施設〕

宮市福祉センター	本橋町 16-3	22-3801
右田福祉センター	下右田 1237	23-2092
牟礼福祉センター	江泊 1052	22-7735
玉祖福祉センター	佐野 513	24-0775
やはす園	岩島 3-1-1	38-0551
愛光園	牟礼 84-1	22-7566
大平園	牟礼 114-1	24-4665
身体障害者福祉センター	鞠生町 12-2	23-6625

〔文化・スポーツ〕

公会堂	緑町 1-9-1	23-1500
文化福祉会館	緑町 1-9-2	23-1500
図書館	桑山 2-1-1	22-0780
視聴覚ライブラリー	桑山 2-1-1	22-9411
スポーツセンター	浜方 195-2	23-3100
野球場	浜方 182-5	23-9851
陸上競技場	浜方 94-2	25-7555
武道館	浜方 174-2	24-6000
サイクリングターミナル	東佐波令 2886	38-4488

〔公民館等〕

富海公民館 (出張所)	富海 1203-1	34-0034
牟礼公民館 (出張所)	江泊 1802-1	22-9927
勝間公民館	警固町 1-7-42	24-1929
松崎公民館	栄町 2-6-7	23-4500
華浦公民館	お茶屋町 4-10	22-9915
新田公民館	浜方 182-6	22-9913
向島公民館 (出張所)	向島 636-7	22-9835
中関公民館 (出張所)	田島 1434-2	22-9840
西浦公民館 (出張所)	西浦 1457-3	29-0241
華城公民館 (出張所)	西仁井令2-26-1	22-9867

佐波公民館	佐波 2-12-3	22-9919
小野公民館 (出張所)	奈美 126	36-0830
右田公民館 (出張所)	高井 614	22-9819
大道公民館 (出張所)	台道 413-1	32-2078
野島漁村センター (出張所)	野島 679-11	34-1500
英雲荘	お茶屋町 10-21	23-7276
北山手会館	田島 2164	29-0859
大日会館	高井 886-8	22-0942

〔保育所・保育園等〕

市立宮市保育所	本橋町 18-1	23-5615
三田尻保育所	岡村町 9-9	22-1146
富海保育所	富海 2703	34-0039
西須賀保育所	新田 1205	24-0972
江泊保育所	江泊 1068	38-3844
私立向島保育園	向島 806-12	22-1797
小野保育園	奈美 163-2	36-0011
牟礼保育園	軌道 2-13-25	38-0768
みどり保育園	緑町 1-8-9	23-7343
華陽保育園	田島 716-5	22-0003
錦江保育園	田島 433	38-3456
錦江第二保育園	田島 2585-1	29-0406
西浦保育園	西浦 1731	29-0605
上右田保育園	上右田 1074	22-4037
右田保育園	下右田 390-1	21-6942
玉祖保育園	佐野 362	23-2808
切畑保育園	切畑 511-2	32-0851
妙蓮寺保育園	台道 5537	32-0208
勝間保育園	東三田尻 1-8-1	22-7112
双葉保育園	警固町 2-7-1	23-2831
華城保育園	伊佐江町 11-40	23-3185
西佐波保育園	高倉 1-16-10	23-5538
東牟礼保育園	牟礼 836-3	38-1206
新田乳児保育所	新田 847-2	23-8558

〔幼稚園〕

私立暁の星幼稚園	八王子 1-26-27	22-1825
えんしん幼稚園	田島 707-3	22-0301
光和幼稚園	真尾 1609	36-1167
佐波幼稚園	平和町 6-20	22-0625
瑞祥幼稚園	岩島 3-3-29	38-2110
多々良学園附属幼稚園	大崎 161-2	23-5315
玉祖幼稚園	佐野 366	23-5160
中関幼稚園	田島 1360-1	22-4246
西浦幼稚園	西浦 1871-3	29-0188
華城幼稚園	華城中央2-1-28	23-8336
東牟礼幼稚園	牟礼 836-2	38-1029
双葉幼稚園	東三田尻2-8-12	22-0495
松崎幼稚園	天神 2-5-22	22-0537
鞠生幼稚園	華浦 2-2-1	22-1662

私立右田幼稚園	下右田 258-2	23-3323
牟礼幼稚園	牟礼 2-13-24	38-0835
山口短期大学附属幼稚園	台道 680	32-1903

〔 小 学 校 〕

市立富海小学校	富海 1248	34-0014
牟礼小学校	牟礼 106	38-0015
牟礼南小学校	江泊 1361	23-5004
勝間小学校	警固町 2-3-1	22-0314
松崎小学校	東松崎町 1-1	22-3500
華浦小学校	華浦 2-2-2	22-0114
新田小学校	新田 1014-1	22-0539
野島小学校	野島 158-1	34-1400
向島小学校	向島 775	22-1796
中関小学校	浜方 746	22-0566
西浦小学校	西浦 1944-1	29-0101
華城小学校	華城中央 2-2-1	22-0329
佐波小学校	八王子 2-6-10	22-0728
小野小学校	奈美 709	36-0004
右田小学校	下右田 86-2	22-1382
玉祖小学校	大崎 1802	22-1613
大道小学校	台道 400-1	32-0007

〔 中 学 校 〕

市立富海中学校	富海 1246-1	34-0023
牟礼中学校	敷山町 1-13	23-4830
国府中学校	国衙 5-11-19	22-1369
桑山中学校	桑山 2-7-26	22-2182
野島中学校	野島 158-1	34-1414
華陽中学校	田島 719-2	22-1049
華西中学校	西浦 545-2	29-0121
佐波中学校	迫戸町 16-37	22-0233
右田中学校	高井 565	22-0984
小野中学校	奈美 25	36-0130
大道中学校	台道 1124	32-0024

〔 高等学校・大学等 〕

県立防府高等学校	岡村町 2-1	22-0136
防府商業高等学校	中央町 3-1	22-3790
防府西高等学校	台道岩瀬	32-1905
私立多々良学園高等学校	国分寺町 8-3	22-8181
三田尻女子高等学校	東三田尻 1-2-14	22-0213
私立山口短期大学	台道 1346-2	32-0138
県立農業大学校	牟礼 318	38-0510
衛生看護学院	泉町 21-1	23-1920
防府養護学校	浜方 205-3	22-6108
防府文化家政専門学校	戎町 2-4-42	22-0661
防府看護専門学校	三田尻 1-3-1	22-0569
防府福祉医療専門学校	中央町 1-8	26-1122

〔 県 の 機 関 〕

県立中央病院	大崎 77	22-4411
防府環境保健所	駅南町 14-28	22-3740
防府県税事務所	駅南町 13-40	23-3111
防府土木建築事務所	駅南町 13-40	22-3485
防府土地改良事務所	駅南町 13-40	22-0732
防府水産事務所	駅南町 13-40	22-1506
防府林業事務所	駅南町 13-40	22-1071
防府農業改良普及所	駅南町 13-40	38-0505
防府教育事務所	駅南町 13-40	22-1072
佐波川利水事務所	中泉町 18-7	22-5196
防府港務所	新田 2049	22-6209

〔 国 の 機 関 〕

防府区検察庁	寿町 6-39	22-0935
防府簡易裁判所	寿町 6-40	22-0969
山口地方方法務局防府支局	寿町 6-39	22-0934
防府労働基準監督署	寿町 6-39	22-2405
防府税務署	緑町 1-2-12	22-1400
防府公共職業安定所	駅南町 9-33	22-3855
建設省山口工事事務所	国衙 1-10-20	22-1785
同上 佐波川出張所	古祖原 18-43	22-0898
防府国道維持出張所	西仁井令 1-8-1	22-3093
航空自衛隊防府南基地	田島無番地	22-1950
航空自衛隊防府北基地	田島無番地	22-1950
陸上自衛隊防府分屯地	田島無番地	22-1950
徳山税関支署防府出張所	新田 2038	22-2385
徳山海上保安部	新田 2049-2-3	23-9898
三田尻中関分室		
防府郵便局	佐波 2-11-1	22-0550
運輸省第四港湾建設局宇部港	新田 2049	38-6091
工事事務所三田尻中関事務所		
防府年金相談サービスセンター	戎町 1-8-25	25-7830

〔 警察署・消防署 〕

防府警察署	駅南町 7-22	25-0110
防府市消防本部	寿町 7-1	23-1600

〔 そ の 他 〕

防府土地開発公社	寿町 7-1	25-2160
防府市公園緑地協会	岩島 1-24-15	21-8739
防府市観光協会	寿町 7-1	25-2148
防府市交通安全協会	寿町 7-1	25-2165
防府市社会福祉協議会	緑町 1-9-1	22-3907
防府市社会福祉事業団	鞠生町 12-2	23-6625
防府商工会議所	八王子 2-8-9	22-4352

年 表 < 防府市のあゆみ >

西 暦	元 号	出 来 事
2500 ~ 3000年前		縄文時代晩期に、右田や小野で集落が営まれる
2000 年頃前		井上山や大崎などで高地性の集落が営まれる
600 年頃		車塚古墳や大日古墳など古墳時代後期の前方後円墳が造られる
603 推古天皇 11年		新羅征討將軍来目皇子（聖徳太子の弟）筑紫で薨す。遺骸を周防婆娑に仮埋葬する（日本書紀）
646 大化 2年		孝徳天皇、大化の改新の詔を発する（日本書紀）
650 ~ 700 年頃		律令国家体制が確立されていく。その過程で地方に国郡制が施かれ、周防の国府が婆娑の地に置かれる
741 天平13年		聖武天皇、詔して諸国に国分寺、国分尼寺を建立せしむ。周防国分寺は、東佐波令（国分寺町）に現存する
901 延喜元年		菅原道真左遷され、太宰府に下る途中、勝間の浦に立ち寄る
904 延喜 4年		国司土師信貞、松ヶ崎に社（防府天満宮）を建て道真の霊をまつる
974 天延元年		清少納言の父、清原元輔が周防の国司として赴任する
1186 文治 2年		周防国が東大寺造営料国となり、俊乗房重源が国務を管理。重源は東大寺造営の用材を出すため佐波川を遡上し、徳地の杣山に入る
1187 文治 3年		重源、牟礼山麓を開発し阿弥陀寺を建立後白河法皇のご祈願所とする
1195 建久 6年		重源、東大寺落慶法要後、周防一の宮玉祖神社・松崎神社を造替する
1197 建久 8年		重源、阿弥陀寺に鉄宝塔を奉納する
1311 応長元年		松崎天神縁起がつくられる
1319 元応元年		宮市兄部五郎太郎を合物座長職とし、東は富田市、西は賀河（嘉川）市、北は大内並びに得地（徳地）市を限り、合物商人らをその支配下におき、宮市は合物座によって長く商業が栄える
1336 延元元年		国衙の役人清尊・教乗ら足利尊氏に敵対し、敷山駿観寺に挙兵するが戦死する
1358 正平13年		大内弘世が厚東氏を滅ぼし、防長両国を統一する
1365 正平20年		大内弘世、松崎天満宮を再建する
1389 元中 6年		將軍足利義満厳島に参詣し、次いで九州に下向する途中、三田尻高州の松原に着く。大内義弘、旅館を新造しもてなす
1417 応永24年		周防国分寺火災により焼失する
1503 文亀 3年		周防国分寺の金堂・舍利殿・仁王門が再建される
1530 享禄 3年		大内義隆、松崎天満宮を再建する
1551 天文20年		陶隆房（晴賢）、大内義隆にそむき、防府より山口に攻め入る。義隆長門市大寧寺で自害する
1555 弘治元年		毛利元就、陶晴賢を厳島で討ち、軍を防長に進める
1557 弘治 3年		毛利元就父子、大内義長討伐のため、本陣を天満宮社坊大専坊に構える
1569 永禄12年		大内輝弘、秋穂浦に上陸し山口に攻め入る。敗れて牟礼の浮野峠にいたり、茶臼山で自害する
1592 文禄元年		豊臣秀吉、朝鮮出兵のため九州に下向する途中、松崎天満宮に詣でて戦勝を祈願する
1596 慶長元年		毛利輝元、国分寺仁王門を再建する
1611 慶長16年		毛利輝元、毛利水軍の根拠地を三田尻に定め、ここに御船倉を置く。次いで、町割りをし、三田尻町が形成される
1625 寛永 2年		毛利元俱、領地替えて、熊毛町三丘から右田に移り、右田・小野・牟礼を領有する
1628 寛永 5年		右田の毛利元俱、文武道場を創立し時観園と称する。潮合開作が築き立てられ、田島が陸続きとなる
1642 寛永19年		酒造業兄部家を宮市本陣と定める
1650 慶安 3年		防長両国内を18宰判（行政区）に分ち、三田尻宰判が置かれる。勘場（代官所）を三田尻に設ける
1654 承応 3年		毛利綱広、三田尻に藩の公館御茶屋（英雲荘）を新築する
1699 元禄12年		三田尻大開作が築き立てられ、その一部を入浜塩田（古浜）とし、次いで鶴浜・大浜塩田が築立され、一大塩業地となり中関が港町として発展する
1719 享保 4年		1688年のころから河野養哲の私塾越氏塾が開かれ、この年、養哲の家宅を免租地とし文学素読の指南に尽力させる（後に明倫館の附属となる）
1732 享保17年		虫害により防長両国大飢饉、防府で飢人15,000人に及ぶ
1768 明和 5年		小郡及び三田尻宰判の塩業地を管轄する中関宰判が置かれる
1769 明和 6年		江泊塩田築き立てられる
1771 明和 8年		田中藤六が製塩三八換持法を瀬戸内の諸浜で遊説し、塩業不況を立て直す。また三田尻浜大会所を設け、防長両国の塩業を統轄する
1783 天明 3年		毛利重就、三田尻御茶屋に隠棲し、三田尻御殿と称する
1784 天明 4年		西浦前ヶ浜塩田築き立てられ、三田尻6ヶ所浜ができて上がる
1787 天明 7年		毛利重就、国分寺金堂を再建する
1800 寛政12年		幕府、三田尻塩を蝦夷地御用塩として買い上げる
1824 文政 7年		西浦新開作潮止めする

1828	文政11年	未曾有の大風で、人家 2,670余軒倒壊する	1887	明治20年	三田尻登記所が置かれる 山口街道に佐波山洞道完成 この頃、自転車普及しはじめる
1831	天保 2年	三田尻宰判で百姓一揆が起こり、県下の諸郡に及ぶ一大一揆となる	1889	明治22年	市制・町村制が施行され、旧町村は大字として存置される 華浦組（華浦銀行の前身）が設立される
1837	天保 8年	飢饉となり、捨子や行き倒れが数多く出る	1892	明治25年	三田尻郵便局が三田尻郵便電信局と改称
1863	文久 3年	京都の政変により、三条実美ら長州派公家追放され、三田尻御茶屋に着く 萩から山口に移鎮した毛利敬親、山口防衛のため勝坂に閤門を設け、砲台を構築する	1893	明治26年	三田尻港の突堤完工
1864	元治元年	越氏塾のあとの三田尻学習堂を講習堂と改称する	1894	明治27年	中関に三田尻製塩売捌所が設立される
1865	慶応元年	海軍学校を三田尻に設置する	1896	明治29年	中関に塩田貯蓄銀行が設立される 宮市銀行が設立される
1866	慶応 2年	毛利敬親父子及び吉川監物、三田尻において英国キング提督と会見する 四境戦争において、三田尻の御橋隊、一新組芸州口で戦う	1898	明治31年	山陽鉄道徳山～三田尻間が開通し、三田尻駅が営業開始
1867	慶応 3年	毛利元徳、薩摩藩主島津忠義と三田尻で会見し討幕出兵を協議する。11月、討幕出兵の全軍駒生松原に会し、小田浦から軍艦で海路進発する	1900	明治33年	山陽鉄道三田尻～厚狭間開通
1870	明治 3年	脱退騒動の戦火により、右田で天徳寺・民家20数戸焼失	1901	明治34年	水稻正条植が奨励され、右田式田植法として知られる 山陽鉄道が全線開通
1871	明治 4年	三田尻・宮市に郵便取扱所（後の郵便局）が設けられ、郵便物の引受、配達業務を始める	1902	明治35年	佐波村と三田尻村が合併し、防府町誕生 曹洞宗第4中学林（多々良高校の前身）が設立される
1873	明治 6年	学制発布により、寺院・民家等を借用して小学校が設立される 行政区画が改正され、大小区制により防府市域は第9大区に属す	1903	明治36年	柏木幸助が、「柏木ジアスターゼ」を製造販売
1874	明治 7年	県立山口病院を三田尻に移し、華浦病院と改称し、華浦医学校を設立	1904	明治37年	三田尻郵便電信局が車塚に移転し、防府郵便局と改称
1875	明治 8年	三田尻郵便取扱所が三田尻郵便局と改称される 柏木幸助が、安全マッチの製造に成功 佐波川に木橋が架橋され、新橋と命名	1905	明治38年	三田尻塩務局が設置される
1876	明治 9年	山口警察出張所三田尻屯所が置かれる	1908	明治41年	山口県蚕業試験場が西佐波令に創設される（昭和19年4月閉鎖）
1877	明治10年	私立周陽学舎（防府高校の前身）が野崎（新天地）に設立される 山陽道の浮野峠・佐野峠廃止され、末田及び遠ヶ崎線が開通	1909	明治42年	佐波郡立高等女学校開校 防府郵便局内に電話交換事務が開始され管内加入電話 160機が通話を開始 日本専売公社防府製塩試験場設置（昭和35年塩田廃止に伴い閉鎖）
1878	明治11年	三田尻村下岡村に電信局が創設され、電報事務取扱を始める 大小区制が廃止され、旧来の郡・町村に復する。佐波郡役所を三田尻に置く	1910	明治43年	防府電灯が設立され、この年初めて電灯がとる 福永章一が、初めて足踏回転脱穀機を考案し、これが各地に普及
1879	明治12年	大道村旦浦、上田開作築立 三田尻・宮市に消防組が設置される 西洋型帆船（500ト）を建造し、全国各地に食塩を輸送	1913	大正 2年	防府ガス開業
1881	明治14年	この年本市で人力車 230余台を数える。 また、山口・堀・津和野に至る路線に乗合馬車が営業される	1914	大正 3年	三田尻～山口米屋町間で乗合自動車の営業開始 石三軽便鉄道（防石鉄道）開設立
1883	明治16年	柏木幸助が検温器の製造を開始 県立華浦医学校廃校	1916	大正 5年	毛利邸及び庭園が完成
1886	明治19年	三田尻警察署発足	1918	大正 7年	向島製塩工場（日本専売公社防府工場）設置（昭和35年塩田廃止に伴い閉鎖） 佐波川大洪水により新橋が流失する等佐波川水系に大被害を受けるとともに暴風雨による被害が各地区に出る 富海・中関で米騒動起こる
			1919	大正 8年	防石鉄道三田尻～上和字間の営業開始
			1920	大正 9年	防石鉄道上和字～堀間が開通 第1回国勢調査
			1921	大正10年	佐波川架橋の「新橋」を鋼橋に架けかえ
			1923	大正12年	中国護謄（後に大日本護謄）設立

1924	大正13年	防府体育協会結成（昭和17年6月防府市体育協会と改称）	1945	昭和20年10月	占領軍、海軍通信学校及び陸軍飛行場を接收し駐留
1925	大正14年	第2回国勢調査	1946	昭和21年 8月	日本セルローが鐘紡を借出し設立される
1926	大正15年	国鉄富海～三田尻間の複線工事竣工 佐波郡役所が廃庁される 中関村が、町制を施す		9月	防府市選挙管理委員会設置
1927	昭和 2年	私立三田尻高等女学校が開校 防府電灯幹が、県に買収され県営電気として配電される	1947	昭和22年 4月	最初の公選市長選挙が行われ、決戦投票の結果、宮地良三氏が市長となる 6・3・3・4制となり、新制中学校が小学校に併設され開校
1928	昭和 3年	三田尻駅構内にあった三田尻機関庫が小郡駅に移転		7月	防府市連合婦人会結成
1929	昭和 4年	町立防府商業学校が開校		10月	第6回国勢調査。国勢15,168,人口67,182人 市制施行10周年記念式典
1930	昭和 5年	寿酒造幹創設（昭和15年に、宝酒造幹防府工場となり、平成7年3月工場閉鎖） 国鉄三田尻～大道間の複線工事竣工 第3回国勢調査 防府郵便局の新庁舎が完成し移転	1948	昭和23年 4月	華陽中学校開校
1931	昭和 6年	国鉄バス三田尻～山口間の営業開始		10月	野島～三田尻間の連絡船として、共同丸就航
1933	昭和 8年	福島人絹幹人絹工場設置（昭和24年7月協和醸酵工業幹となる）	1949	昭和24年 4月	佐波中学校開校 車塚の日本医療団山口県中央病院が県に移管され、山口県総合病院として発足
1934	昭和 9年	鐘ヶ淵紡績幹防府工場の建設が決定され昭和11年5月から操業開始（昭和25年7月鐘紡幹防府工場となる） 農民道場（山口県農業大学の前身）が牟礼に設置される		9月	防府競輪場開設
1935	昭和10年	第4回国勢調査		11月	防府ユネスコ協会結成
1936	昭和11年 4月	佐波小学校開校	1950	昭和25年 3月	市営野球場完成
	8月	防府町・中関町・華城村・牟礼村の二町二村が合併し、25日に市制施行		7月	市広報第1号発刊
1938	昭和13年10月	防府保健所が県内最初の保健所として開設される（現防府環境保健所） 駅通りに防府で初めての百貨店、前田百貨店がオープン		8月	向島錦橋完工
1939	昭和14年 5月	山口県種鶏場が牟礼本部に完成		10月	第7回国勢調査。国勢15,063,人口71,065人
	11月	西浦村を3日に編入	1951	昭和26年 1月	新田小学校開校
1940	昭和15年 2月	市議会議事堂が車塚に完成		4月	右田村を1日に編入 防府市社会福祉協議会設置
	10月	第5回国勢調査。国勢12,272,人口58,890人		7月	上水道の給水を一部開始 集中豪雨により佐波川水域を中心に未曾有の被害を受ける
1941	昭和16年 4月	上山満之進の寄付により、市立三哲文庫（現防府図書館）開設 NHK防府放送局開設、放送開始		10月	三笠宮殿下を迎え、第6回国民体育大会の自転車競技を開催
	8月	佐波川の名橋「舟橋」を廃し、その下手に木橋「本橋」を架橋	1952	昭和27年 3月	市制施行15周年記念式典
	11月	市制施行5周年記念式典		4月	華西中学校開校 防府天満宮焼失（昭和38年9月再建）
1942	昭和17年 8月	台風による高潮で海岸の堤防が決壊し、大きな被害を受ける		8月	佐波川ダム起工（昭和31年4月完成）
	11月	中関に海軍通信学校が設置される		11月	防府市教育委員会設置
1943	昭和18年 2月	一般家庭からの金属回収が行われる	1953	昭和28年 4月	上右田田ノ口の八右衛門谷から出火し、山林百数十町歩を焼失
	8月	学徒動員令により、工場に動員される		7月	佐波川大橋竣工
1944	昭和19年 5月	防府飛行場に陸軍航空隊設置		9月	山口県立中央病院が八王子二丁目に新築移転し、開院
1945	昭和20年 7月	米軍機、鐘紡などを機銃掃射する		10月	第1回防府みなと祭
				12月	昭和製袋工業幹防府工場が設置され、昭和29年4月から操業開始（現昭和パックス幹防府工場）
			1954	昭和29年 2月	防府市新庁舎開庁
				4月	富海村を1日に編入 国府中学校開校
				12月	航空自衛隊防府基地設置

1955	昭和30年 4月	勝間小学校開校 小野村、大道村を10日に編入	1963	昭和38年 9月	「市民の誓い」「市民の歌」が制定され 発表会を行う
	5月	岸津にごみ焼却場完成		10月	新しい火葬場が完成し、使用開始 第18回国民体育大会秋季大会開催される
	10月	第8回国勢調査。人口20,647、人口96,821人	1964	昭和39年 6月	防石鉄道幹が、鉄道運輸営業（防府～堀 間）を廃止
1956	昭和31年 2月	人丸橋完工		9月	周南地区が工業整備特別地域に指定され る
	4月	天皇、皇后両陛下をお迎えして矢筈ヶ岳 で植樹祭が行われる 市制施行20周年記念式典 向島の錦山に無線中継所完成		10月	広島～小郡間の電化の完成により、山陽 本線全線の電化が完成
	5月	大崎橋完工		11月	防府市工業用水道の通水開始 佐波川干拓大道工区の潮止式
1957	昭和32年 1月	三田尻百間沖埋立工事開始（昭和46年竣 工）	1965	昭和40年 4月	地積調査を西浦から開始
	11月	光田健輔氏を迎え名誉市民推挙式、胸像 除幕式を挙行		10月	第10回国勢調査。人口24,008、人口94,342人
1958	昭和33年 4月	桑山中学校開校 西浦にバス開通		11月	佐波川干拓西浦工区の潮止式 農業構造改善事業で、西浦・牟礼・富海 地区に基幹農道が完成
	8月	天神町と駅通りとの交差点に初めての自 動信号機が設置される	1966	昭和41年 1月	防府市し尿処理場完成
	11月	公共下水道事業に着工		3月	築地作業所が完成し、完工式を行う 佐波小学校前の横断陸橋完成（市内初） 西浦塩田跡地を山口県が買収 久兼・奥畑・真尾・切畑4分校廃止
1959	昭和34年 2月	国道 262号線の佐波川架橋「新橋」完成 し、3月13日に完工式		4月	三田尻中関港が開港指定される 佐波川が一級河川に指定される 野島航路を運営する（野島海運（市・漁 協出資）設立
	3月	大平山ロープウェイ開設 山口県営防府総合用水堰完成		5月	日産化学工業幹が古浜塩田跡地に進出決 定（現ニチレキ幹）
	5月	柏木体温計幹が工場閉鎖		7月	日本専売公社防府原料工場が百間埋立地 に進出決定し、昭和44年10月から操業開 始（現日本たばこ産業幹防府工場）
	6月	三田尻港が重要港湾に指定される 久兼にバス開通 NHK防府テレビ放送局の中継所が大平 山に設置され開局		9月	浜子うた保存会が設立され、その保存顕 彰発表会が行われる
	10月	防府市労働会館落成式		10月	市制施行30周年記念式典
1960	昭和35年 1月	塩田が全面的に廃止される	1967	昭和42年 1月	山口工業短期大学が大道繁枝に設立認可 され、4月発足
	8月	航空自衛隊防府北基地発足		3月	防府市教育委員会が、国衛跡緊急学術調 査の結果をまとめ、「周防の国衛」を出 版
	10月	第9回国勢調査。人口21,952、人口94,513人 向島製塩工場がたばこ中骨工場に転換 防府市公会堂落成		4月	防府市第1隣保館（宮市福祉センター） 開館 日本特殊農薬製造幹が百間埋立地に進出 決定、昭和43年10月から操業開始。（現 日本バイエルアグロケム幹防府工場）
1961	昭和36年 4月	史跡周防国衛跡緊急発掘調査開始		6月	防府保健所の新庁舎完成（現防府環境保 健所）
	5月	海洋民俗資料収蔵庫完成		9月	三田尻中関港が木材輸入特定港に指定さ れる 右田西目山火災、3日間燃え続く（焼失 面積 439ha）
	6月	市庁舎別館完工		12月	防府市ごみ焼却場完成
	8月	防府電報電話局の新築局舎完成。新局舎 に9月移転し、自動式の電話交換を開始	1968	昭和43年 3月	山手都市下水路完工
	9月	市制施行25周年記念式典		4月	市民交通災害共済制度発足 山口県立防府養護学校開校
1962	昭和37年 3月	NHK防府放送局が山口市に移転			
	10月	第1回防府産業祭			
	11月	国鉄三田尻駅を防府駅に改称			
1963	昭和38年 1月	数十年ぶりの寒さで、大平山でも1m近 くの積雪があり、スキーで賑わう			
	6月	鐘紡幹防府ナイロン工場設置			
	8月	民間航空路線（防府～広島）開設される （昭和39年無期運休）			

1968	昭和43年 6月	防府おどりの発表会を、防府市公会堂で開催	1973	昭和48年 3月	史跡周防国衙及び右田一丁田史跡発掘調査 農業振興地域に決まる
	10月	三田尻港が穀類輸入準特定港に指定される		4月	中関公民館・学習等供用会館開館 宮市保育所開所 20年後を目指して、市開発基本構想まとまる
	11月	鐘紡防府ナイロン工場が鐘紡防府合繊工場と改称		5月	右田に育苗センター完成
1969	昭和44年 3月	市公設青果物卸売市場完成 県営金波堰用水改良事業完工		9月	佐波山トンネル（上り車線）開通
	5月	三田尻中関港が、植物防疫法施行規則一部改正に伴い、輸入場所に指定される		11月	各地区で農用地区設定説明会と除外申請の受付
	7月	都市計画法による政令都市に指定される赤間大橋完成	1974	昭和49年 1月	市献血推進協議会発足 経済情勢悪化で、セメント・灯油などを公共団体が斡旋
	10月	専売公社防府原料工場が、百間沖埋立地で操業開始		2月	ちり紙・トイレットペーパーなどの標準価格決まる
1970	昭和45年 2月	防府市マラソンコース（防府市右田高井～佐波郡徳地町下畑折返し42.195Km）が日本陸上競技連盟から公認される		3月	（財）防府スポーツセンター体育館完成
	3月	東海カーボンが中関4ノ外に、ブリヂストンが中関1・2ノ外に進出決定		4月	人権モデル地区に指定される 県植樹祭、西目山で行われる
	5月	野島航路に新造船すおう丸就航		5月	市休日診療所オープン 特別養護老人ホームあかり園開園
	7月	防府、山口地区（防府、山口、秋穂、小郡、徳地、阿東、秋芳、美東）が広域市町村圏に指定される 防府の文化を高める会発足		7月	西浦公民館・学習等供用会館開館
	8月	三田尻港水域にかかる水質等の基準が設置される（昭和46年2月施行）		8月	乳児健康診査無料制度開始 第1回市民水泳大会、国府中で開催
	10月	第11回国勢調査。人口26,595、人口97,009人 防府市第2隣保館（右田福祉センター）開館 防府西部リトリッドセンターが大道に進出決定（現ブリヂストンSRC）		9月	野島に、海水を淡水化する我が国初めての簡易水道完成
	12月	第1回防府読売マラソン大会開催		11月	消費者情報ダイヤル開設
1971	昭和46年 3月	公害対策審議会発足		12月	松くい虫のため、市の指定文化財大道往還松を伐採
	4月	宇部興産飲料が上右田に進出決定（現防府ビバックス防府工場） 山口県立衛生看護学院開校 防府警察署が市役所前に完成 交通安全モデル都市宣言	1975	昭和50年 3月	終末処理場の管理棟完成
	7月	広島県吉田町と姉妹都市縁組みを結ぶ 新佐波山トンネル開通		4月	新田公民館・学習等供用会館開館 中小企業振興条例誕生
	10月	市制施行35周年記念式典		5月	（財）防府スポーツセンタープール完成、6月オープン
1972	昭和47年 1月	老人医療の無料化実施		6月	市議会で暴力追放宣言を議決
	2月	右田ライスセンター完成		10月	第12回国勢調査。人口30,684、人口105,540人 環境保全条例制定 韓国春川市と第1回交歓陸上競技大会を開催 （財）防府スポーツセンター野球場完成
	3月	専売公社防府製塩試験場閉場 「やはず園」が岩島に完成移転		11月	鉄道高架事業調査開始
	4月	東洋工業防府工場の進出決定（現マツダ防府工場）	1976	昭和51年 2月	山口県防府総合庁舎完成
	6月	防府市文化福祉会館完成		3月	大平山牧場完成（団体営草地開発事業）
	9月	防府スポーツセンター設立		4月	華城公民館・学習等供用会館開館 右田福祉センターが移転新築され、開館
	11月	用途地域の案案決まる		5月	市制施行40周年記念式典
1973	昭和48年 3月	新用途地域決まる 市の木に「サンゴジュ」、花に「サルビア」、花木に「梅」決まる		9月	市電算機始動式
				10月	ブリヂストン防府工場で1号製品生産される
			1977	昭和52年 2月	周防国衙跡で緊急発掘調査を開始

1977	昭和52年	4月	ブリヂストン輪防府工場操業開始 右田公民館・学習等供用会館開館 牟礼福祉センター開館 富海保育所開所	1981	昭和56年	5月	市役所南庁舎完成
		7月	防府バイパス第3トンネル貫通			7月	新図書館が桑山にオープン
		8月	老人家庭や身障者家庭へ福祉電話を設置			10月	市制施行45周年記念式典
		9月	周防国府跡保存対策協議会発足			11月	向島海岸道路(県道)供用開始 大道老人憩の家完成
1978	昭和53年	2月	公共下水道の供用開始			12月	山陽本線防府駅付近連続立体交差事業、 駅南地区土地区画整理事業が都市計画決 定される 東洋工業輪が中関工業団地で変速機工場 の操業開始(現マツダ輪)
		4月	玉祖福祉センター開館 西須賀保育所開所 新「新橋」開通	1982	昭和57年	3月	佐波老人憩の家完成
		6月	防府市の人口が11万人を突破			4月	輪ニチイ防府店開店 野島に本土から上水道が通水する 牟礼南小学校開校 防府バイパス(富海～高井間)開通
		7月	牟礼公民館開館			5月	市議会棟完成 向島公民館・学習等供用会館開館
		11月	桑山一帯が県の「鳥獣保護区」に指定さ れる			7月	干天で水不足深刻。阿弥陀寺で43年ぶり に雨乞い供養が行われる
1979	昭和54年	1月	防府駅付近鉄道高架事業が決定される 天満宮で、宮大工の仕事始め「新始式」 が100年ぶりに復活			8月	周防国衙跡に史跡公園完成
		3月	大平山ロープウェイ開設20周年を記念し 「冒険の森」がオープン			9月	東洋工業輪防府工場(西浦地区自動車組 立工場)操業開始。(現マツダ輪防府工 場) 築地作業所に新しいゴミ焼却場完成
		4月	山口県立防府西高等学校が旧佐波小学校 の仮校舎で開校 江泊保育所開所 新橋の新旧両橋が全面開通			10月	種田山頭火の生誕100年を記念して、山 頭火展や句碑建立が行われる 牟礼南・華城老人憩の家完成
		5月	新広域市町村圏に山口・防府地区が指定 される 精神薄弱者の通所授産施設「愛光園」が 完成 山口身障者職業センター完成	1983	昭和58年	3月	防府駅付近連続立体交差事業が認可され る 市営墓園(大光寺原霊園)が完成し、分 譲を開始 「福祉都市」宣言
		8月	モデル定住圏に山口・防府地区が選定さ れる			5月	山口県立中央病院が右田大崎へ移転オー プン 市身体障害者福祉センター完成
		11月	粗大ごみ処理施設が運転開始			6月	牟礼新長尾団地の宅地分譲を開始
1980	昭和55年	3月	防府バイパスの第1トンネル(梶野～末 田)が貫通 天神山公園の整備完了			7月	天神山森林公園開園
		4月	水道局の新庁舎完成 精神薄弱者更正施設「大平園」、心身障 害児簡易通園施設「なかよし園」が完成			10月	市シルバー人材センター設立総会開催
		5月	青少年問題のよき相談相手「ヤングテレ ホン防府」がスタート 防府バイパスの第2トンネル(末田～浮 野)が貫通	1984	昭和59年	3月	防府郵便局の新局舎完成 防府卸団地が浜方に完成 松崎・牟礼北老人憩の家完成
		9月	ブリヂストン輪が第3期拡張工事に着手 山陽自動車道の太山トンネル(梶野～ 下木部)が貫通			4月	市保健センター完成 野島航路へ新造船のしま丸就航 富海公民館、佐波公民館・学習等供用会 館開館
		10月	第13回国勢調査。昭和34、197、人口111,468人 華浦公民館・学習等供用会館開館			5月	東洋工業輪がマツダ輪に社名変更 防府観光キャッチフレーズが「きんさん せ 天神様も ほれた街」に決まる
		11月	上右田・勝間老人憩の家完成			7月	三田尻中関港湾労働者福祉センター完成
1981	昭和56年	3月	山口県立防府西高等学校の新校舎が大道 に完成 山陽自動車道の天神山トンネル上り線が 貫通			9月	山陽自動車道「富海トンネル」の上り線 が貫通
		4月	野島漁村センター開館 防府サイクリングターミナル完成	1985	昭和60年	3月	山口地区(山口市・防府市・小郡町)が テレトピア地域に指定される 西浦・玉祖老人憩の家完成
		5月	障害者福祉都市の指定を受ける			4月	牟礼中学校開校

1985	昭和60年	4月	栄町商店街の「カリヨン通り」完成 三田尻保育所が移転・開所
		9月	新築地町に魚市場が移転オープン
		10月	第14回国勢調査。世帯37,752、人口118,067人
		12月	三田尻中関港整備事業、中関港区に水深マイナス12メートル岸壁が完成
1986	昭和61年	3月	山陽自動車道（徳山西～防府東インター間）開通 市民課窓口業務をオンライン化
		4月	全国キャプテンシステムを導入 勝間公民館・学習等供用会館開館
		5月	野島漁業集落排水処理施設の供用開始 市広報が1000号を達成
		8月	防府中高年齢労働者福祉センター（サンライフ防府）が完成、9月から供用開始 通産省のニューメディア・コミュニティ構想応用発展地域に指定される
		10月	市制施行50周年記念式典 山口地区キャプテンサービス開始 西佐波緑地完成
		11月	防府貨物駅開業
1987	昭和62年	3月	三田尻大橋（鐘紡沖）開通 郷トピアのモデル都市に指定される
		4月	小野公民館開館
		5月	毛利博物館の新展示室完成
		6月	防府21世紀のまちづくりを考える会発足
		9月	防府駅前近連続立体交差事業起工式
		12月	山陽自動車道（防府西インター～山口ジャンクション）開通 天神祭に「おんな御輿」が登場
1988	昭和63年	1月	初の子ども議会開催
		2月	新しい本橋完成
		4月	野島漁業集落環境整備事業・漁港施設整備事業が完成、竣工式を行う
		6月	市新総合計画基本構想を策定
		11月	防府バイパス全線開通 やまぐちコアポリス21プランを策定
1989	平成元年	3月	防府市新総合計画を策定 向島老人憩の家完成
		4月	市公設青果物地方卸売市場完成 大道公民館・学習等供用会館開館
		9月	山頭火生誕地がミニ公園に整備される
1990	平成2年	1月	市役所第2・4土曜日閉庁
		3月	防府合同庁舎、防府簡易裁判所庁舎完成
		4月	山口・防府地域工業地場産業振興センター（デザインプラザHOFU）完成 松崎公民館・学習等供用会館開館 皇太子殿下が中世史ご研究のため来訪される
		6月	三田尻中関港港湾計画見直し（沖合に人工島造成）
1990	平成2年	7月	中関3ノ外に工場8社が進出
		9月	下水道デザインマンホール蓋第1号を駅南町に設置 防府市陸上競技場完成（11月に完工式）
		10月	競輪場に防府レクリエーションセンター完成 第15回国勢調査。世帯39,128、人口117,634人 駅北整備構想まとまる
		12月	中関老人憩の家完成
1991	平成3年	3月	防府トラックステーション完成 中関トンネル開通
		9月	台風19号が直撃、最大瞬間風速58.1mを記録。死者1名を含む大被害を受けるとともに停電・断水等により市民生活に混乱をもたらす
		10月	韓国江原道春川市と姉妹都市提携し、調印式を行う 市制施行55周年記念式典
		12月	図書館でコンピューターシステムが稼働開始
1992	平成4年	1月	小野老人憩の家完成
		4月	なまず公園完成
		5月	三田尻塩田記念公園開園
		10月	東大寺サミットが開催される 職業訓練センター完成
1993	平成5年	1月	富海老人憩の家完成
		3月	佐波川堤防の桜づつみモデル事業完成
		5月	市役所、週休2日制実施 米国ミシガン州モンロー市と姉妹提携し調印式を行う
		6月	市役所の各出張所で、住民票等各种証明書のファックスによる発行サービス開始
		10月	防府市武道館完成 鉄道高架下り線開通
		12月	新田老人憩の家完成
1994	平成6年	3月	防府市新総合計画第2次基本計画を策定
		4月	市内定期観光バス運行開始
		5月	みなとぐち広場完成イベントとして、12万人の個展を開催 JR新防府駅が供用開始され、鉄道高架が全線開通
		9月	し尿処理場完工
		10月	ほうふふるさと大使を委嘱
		11月	韓イズミ開店
1995	平成7年	1月	阪神淡路大震災被災者への支援活動実施
		2月	防府市男女共同参画審議会発足
		3月	防府駅西に立体自転車等駐車場完成
		8月	防府地域の11漁業協同組合が合併
		9月	市行政改革推進本部設置

1995	平成 7年10月	第16回国勢調査。国勢41,668,人118,803人 テレホンガイド「ふれあいコールほうふ」のサービス開始 山口ケーブルビジョンが防府にエリア拡大の事業認可を受ける
	12月	高規格救急自動車の運用開始 公共下水道古浜雨水1号幹線（シールド工法）完成
1996	平成 8年 2月	防府駅付近連続立体交差事業竣工式、鉄道記念広場開場式及び時空の樹（ときの木）の除幕式
	3月	高架側道完成植樹式 ケーブルテレビの放映が、右田・牟礼の一部でスタート 市議会棟横に震度7まで観測できる地震計、また、消防署南出張所に科学技術庁の強度観測ネットワーク設置 大道大橋完成
	4月	野島航路が1日3便になる 周防往還自転車道が完成、開通式を行う
	8月	ほうふふさと大使懇談会開催 市制施行60周年記念式典 防府市インターネットホームページ試験開設
	9月	ケーブルテレビで防府市地域情報番組放映開始
	10月	60周年記念事業として、てんじんぐちにアスピラート、井上山に青少年科学館を起工 女性議会開催
	12月	新一般廃棄物最終処分場竣工
1997	平成 9年 1月	一般廃棄物最終処分場供用開始
	3月	てんじんぐち駅前広場完成
	4月	行政手続条例スタート 大河ドラマ「防府・毛利元就展」オープン
	9月	国分寺本尊の体内から室町時代の本尊の左手が発見される
	10月	（仮称）青少年科学館の名称がソラルに決定 防府市インターネットホームページ本格開設 紀宮殿下、全国ボランティアフェスティバルやまぐちでお成り
	11月	わたしの提言箱設置